

Mastersounds Radius 4V

[重要な安全上の注意事項 - 最初にお読みください]

換気 - コンソールと電源ユニットの周囲の換気を十分に行ってください。換気スロットを塞いだり、換気に必要な空気の流れを妨げるような場所にユニットを置かないでください。この電源は、過熱およびショートからの保護と、接続されているデバイスへの損傷を防ぐための過電圧保護も含まれています。電源ユニットは、スチール製シャーシに収納され、照明付きの電源スイッチと、ステータス（緑=良好、赤=故障）を示すカラーLEDが装備されています。

湿気 - 火災や感電の危険性を減らすために、雨や湿気にさらさないでください。こぼれる可能性のある液体の容器を置かないでください。

環境 - 直射日光や、電源、アンプ、ヒーターなどの熱を発生する機器から離れた場所に設置してください。操作や保管の際には、過度の汚れ、ほこり、熱、振動から保護してください。タバコの灰、飲み物、煙、特に喫煙の煙がかからないようにしてください。共振や振動のある場所に電源ユニットを設置しないでください。

[フロントパネルコントロール]

Radius 4Vは、リアパネルのCH1とCH2に2つのマイク入力を備えています。

AUXセンドレベルポットは、Auxミックスバス（および外部FXユニット）に送られるチャンネルのシグナルレベルを調整します。時計回りに回すとシグナルレベルが+10dBu上昇し、FXシグナルを正確に調整することができます。

PREボタンは、Auxのセンドをポストフェーダーからプリフェーダーに切り替えます（つまり、プリフェーダーに設定した場合、ロータリーフェーダーを下げた状態でもAuxミックスバスに信号が送信されます）。

TRIMポットは、入力シグナルのレベルをオフから最大+10dBuまで調整し、異なる音楽ソース間の正確なレベルマッチングを可能にします。

LINE / RIAAボタンは、押し込んでない位置でRIAA（Phono）レベルの入力を、押し込んだ位置でLINE入力になります。

Radius 4Vは、伝統的な3 BAND EQシステムを採用しています。

各CUEボタンは、チャンネルのシグナルをヘッドフォンにルーティングします。CUEボタンを押すと赤いLEDが点灯します。CUEボタンがアクティブになると、選択されたCUEチャンネルの再生を聞くことができます。CUEボタンがアクティブでない場合、ヘッドフォン信号は自動的にMaster Mix Bussにルーティングされます。

前面パネルには4つの真空管スロットがあり、各スロット配列の下には穴あきのメッシュがあり、真空管が見えるようになっていて、その周囲に赤いLEDが光っています。

各CUEボタンの下には「XFADE」トグルスイッチがあります。このスイッチはクロスフェーダーを任意のチャンネルにアサインします。例えば、「XFADE」トグルスイッチがXに設定されている場合、チャンネルのミックスはクロスフェーダーを介して送られ、クロスフェーダーがXに設定されているサウンドが聞こえます。

チャンネルの各チャンネルにはLEDメーターが搭載されています。これは各チャンネルで処理されている入力信号の量を視覚的に表示します。通常の動作範囲は、-6dBから+6dB、平均は0dBです。これにより、音楽信号の予期せぬピークに備えて十分なヘッドルームを確保することができます。信号がピークに達した場合、歪みが発生する可能性がありますので、レベルを下げてください。

各チャンネルには、ミキシング時にレベルを正確にコントロールするための大きなロータリーフェーダーが搭載されています。反時計回りに回すと完全にオフになり、時計回りに回すとユニティーゲイン (0dB) になります。最高のパフォーマンスを得るには、通常の音楽レベルの場合、これらのコントロールを時計回りに回しきった位置に近い位置で操作してください。※TRIMポットでも音量調整出来るため、ヘッドルームを気にする必要がありません。

左右のオーディオシグナルを正確に測定する2つの高品質アナログVU（ボリュームユニット）メーターが搭載されています。メーターは、EQ後のサウンドレベルを表示します。VUメーターの追加機能として、+6VUを超えるとメーターが赤に点灯し、クリッピングを警告します。SPLIT モードでは、LEFT VUメーターはCUEシグナルのレベルを、RIGHT VUメーターはMIXレベルを表示します。

SPLIT CUEボタンがアクティブになると赤に点灯し、CUEボタンとVUメーターにリンクします。SPLIT CUEボタンがアクティブでチャンネルCUEが押されると、MIX Bussレベルが右メーターに、チャンネルのプリフェード信号（CUE）が左メーターに表示され、2つのレベルのバランスを調整して、よりスムーズなミキシングを可能にします。スプリットボタンは、キューとなるソースを左ヘッドフォンに、ミックスソースを右ヘッドフォンに送信します。チャンネルCUEがオフの場合、SPLIT CUEは自動的に無効となり、メーターとヘッドフォンはステレオマスターミックス信号のモニターに戻ります。

MASTER EQ / ISOLATORは、12dB/オクターブのフィルターを使用した通常のアイソレーターとして機能し、350Hzと3.5kHzのクロスオーバー周波数で音楽的なアイソレーターとして機能します。ポットの配置は、Master EQとしても使用しやすいように配置されています。

MASTERロータリーポットは、メインアウトプットに送られるシグナルレベルをオフから+10dBuの範囲で調整します。ユニティーゲインとなる「1時」の位置に設定してください。

BOOTHロータリーポットは、ブース出力（モニターミックス）に送られるシグナルレベルを+10dBuまでの範囲で調整します。ユニティーゲインとなる「1時」の位置で設定してください。

ヘッドフォンに送られるサウンドレベルをコントロールするには、ヘッドフォンのポットを使用します。ヘッドフォンでモニターする場合、音量が大きすぎると耳を痛めることがありますのでご注意ください。1/4インチジャックのヘッドフォン差し込み口は、ミキサーの前面側にあります。

X FADE CONTOURでは、クロスフェーダーのスロープを正確にコントロールすることができます。ポットを反時計回りにフル回転させると、クロスフェーダーのスロープは非常にマイルドになり、トラックのブレンドに最適です。ポットを時計回りに回すと、クロスフェーダーのスロープがシャープになります。ポットを時計回りにフル回転させると、スクラッチ時の超シャープなカットが可能です。

ADD MIXノブは、ヘッドフォンでキューとなったトラックに送られるステレオハウスミックスの量をコントロールします。ノブを反時計回りに完全に回すと、キューとなるトラックのみが聞こえます。ノブを時計回りに回すと、ヘッドフォンで聴くことができるハウスモニターがブレンドされ音量が上がっていきます。

Radius 4Vには高品質のPenny & Gilesクロスフェーダーが採用されています。クロスフェーダーを使用することで、スクリーンにプリントされたテキストの通りに、XまたはYにアサインされたシグナル間でミックスを行うことができます。クロスフェーダーを追加することで、基本的なフェードからスムーズなビートマッチング、複雑なスクラッチ操作まで、様々なDJスタイルを簡単にこなすことができます。クロスフェーダーとXFADEトグルスイッチを使用して、XまたはYポジションにアサインするチャンネルを選択します。

[リアパネルコントロール]

MASTERレベルコントロールを時計回りに回し切ると出力レベルは+14dBuとなり、VUメーターは-4VUを表示します。XLR出力は、パワードモニタースピーカーやアンプなどのバランス接続で動作するように設計されています。

AUX SEND & AUX RETURNとして、MasterSounds FXユニットと接続するための1/4インチTRS（バランス）の差し込み口を備えています。AUX OUTはFXユニットのインサートに接続され、FXユニットのアウトプットはRETURN / INSERTに接続されます。

INSERT ONボタンは、Auxリターンジャックをミックスバスインサートとして再構成し、ボタンを押すだけでFXユニットを統合するための比類のない柔軟性を提供します。

GROUND POSTは、ナットを緩めて、ターンテーブルのアース線を取り付けることで、ターンテーブルから発生するノイズをカット出来ます。

RECORD OUTは、RCA差し込み口を2つ装備しており、演奏をステレオで録音することができます。マスターアウトプットの全体的な音量は、レコードアウト機能に影響を与えません（出力は-6dBu）。

1/4インチ TRS（バランス）ジャックのBOOTH OUTは、DJのブースモニター、アンプ/スピーカーシステムに接続します。

4つのLINEインプットとPHONOインプットは、すべてRCA差し込み口（ステレオ）を備えています。PHONOインプットは、CH ONE - CH FOURのターンテーブルカートリッジ用のゲインとRIAAイコライゼーションを提供します。CH ONE - CH FOURのLINE入力はCDプレーヤーの入力となります。

MIC 1 MIC 2 INPUTSでは、2つのXLRソケットにより、2本のマイクを接続することができます。

2つのMIC ONボタンを押すことで、CH1とCH2でペアのマイクを使用することができます。マイク信号は、フォノやラインソースと同様に減衰します。MIC入力をオフにするには、もう一度MIC ONボタンを押してください。